

平成29年第6回田布施町議会定例会一般質問通告一覧表

質問者1 國安 和夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 付帯決議に対する進捗状況について	今年3月議会で、波野北住宅建設事業に関する予算について執行留保の提議をし、再度、調査、検討を求め、賛成多数で可決したが、9か月経過し、その付帯決議に対する進捗状況をお尋ねする。	町長
2. 実質公債比率13.1%の状況下での3億円の借金について	建て替える予定地の東小学校は児童数が270名（西小220名、麻郷小230名、城南小90名）と一番多い。そこに6億円（1戸2,000万円）で30戸の低所得者、子育て世代の町営住宅（しかも3億円は借金）を建設することに町民からも疑問の声が上がっている。 また、先月、県内の19市町の財政健全化判断比率が発表された。実質公債比率について自治体が新たに借金をする際、県の許可が必要になる基準（18%）は田布施町13.1%と越えてはなかったが美祢市、平生町に次ぐ県内ワースト3であった。この財政状況の中、3億円の借金をすることに対し、町長の意見を求める。	町長
3. 城南コンパクトシティ構想について 波野北住宅計画の予算で城南に子育て世代と高齢者用町営アパートを	現在、町の計画では、数年後に城南団地に8戸の一戸建住宅を建設する計画がある。それでは、児童を20～30名増やすには焼け石に水。やはり子育て世代用アパートは作らないと。私は町営住宅に一户建は必要ないと考えです。なぜなら、一户建にすると、長期間住み続ける可能性がある。そもそも町営住宅の最初の目的は若い夫婦がお金を貯めて、自分の家が建てられるまでの約10年余り住むというのではなかったか。 現職を持ち、生活の基盤がしっかりしている子育て世代に町営アパートを提供できれば、町外からの移住者も増加し、小学校も、地域も活性化するのではないか。	町長

質問者2 國本 悦郎

※最初は一括質問一括答弁

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 図書館業務について	町立図書館と学校図書館について6点お尋ねしたい 1 館長は、今年度は専任ではなく、社会教育課長の兼任となっているが、その経緯と今後の対応は 2 館内の壁紙が至る所で剥がれているのが気になるが、それへの対応は 3 子供向けの読書貯金通帳の利用状況と大人向けの通帳の発行の予定は 4 2階の研修室の利用状況は 5 町内各学校の学校司書（その内司書教諭免許所有の有無）の配置と図書指導の実態は 6 不登校（保健室登校含む）児童生徒の町立図書館もしくは学校図書館への活用は	町長 教育長
2. 町道の整備について	テクノ7前から合同斎苑を通過して農道に至る町道について2点お尋ねしたい 1 安全にダンプとの離合ができるよう町有林側の立木伐採の予算化はできないか	町長

	2 多くの町民の要望がある農道と町道との交差点に信号機は設置できないか	
3. 太陽光発電設置について	町内のあちこちに設置されている太陽光発電について、2点お尋ねしたい 1 不耕作地等を太陽光発電に利用する場合、町としての規制はできないか 2 これまでの太陽光発電の固定資産税は確実に徴収できているか、買電価格が低くなり、採算が合わないで撤退している事業所や個人はないか、今後の見通しはどうか	町長

質問者3 石田 修一

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 第二庁舎の計画について	①第二庁舎案の議論は具体的にどの程度進んでいるか。また町長はどのような考え方で進めていくのか。今後の方向性について問う。 ②建設計画の企画立案にあたっては、トップダウンでなく、各課の職員の合意形成が必要と思うが如何か。	町長
2. 水道料金の引き下げについて	①現在の水道料金について町長はどのように考えておられるか。 ②水道事業は平成12年より今日まで赤字体質が続き、具体的な改善策は示されていない。経緯と結果についてお答え願いたい。	町長
3. 水道事業の改革について	①柳井広域1市4町の責任水量の見直しをしてはどうか。 ②柳井市は県水道局の支援で工業用水95円から今年度45円に引き下げられた。田布施町を含む4町は現状の200円のままか。 ③広島県では、県と市町で事業統合し、料金格差の是正に取り組んでいるが、1市4町で県に対して積極的な交渉をするべきだと思うがどうか。	町長
4. 町職員の人事評価について	①人事評価制度の整備状況と適正な運用のための組織体制づくりは構築されているか。 ②評価者の公正な評価が求められ、評価を上げるためどのような方法をとっているか。 ③評価の結果、勤務成績が良好でない職員について処遇面にどのように反映され指導育成しているか。 ④優秀な職員のモチベーションを高めるため、特に優秀な職員はどのような処遇をされているか。	町長

質問者4 河内 賀寿

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 命名権募集、図書館などで試みては	山口市は「西京スタジアム」の命名権募集を始めた。市によると、命名権料は年200万円以上(希望期間3年以上)。愛称の一部に「スタジアム」か「球場」を含むことが条件とのこと。県も維新百年記念公園陸上競技場の命名権の募集をしている。最近、県内でのこういった募集が相次いでいる。さて、本町も図書館などで募集して試みてはどうか。どこかの企業と、契約成立して、いくらのお金でも入れれば新刊書を買う代金などにも使用	町長

	できるのではないか。	
--	------------	--

質問者5 竹谷 和彦

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 種子法廃止についての町としての対応は	<p>来年4月1日より種子法が廃止される。種は国民にとって命ともいえるかけがえのない存在であるが、コシヒカリ等の栽培がいずれできなくなったり、農家が確保していた種を使った農業ができなくなることが懸念されている。日本農業新聞（2017. 11. 30）によれば種子法廃止により種の価格が高騰したり遺伝子組み換え種子が蔓延し、国民の食の安全脅かされるといふ懸念がある。</p> <p>今後の町としての対応についてお聞かせ願いたい。</p>	町長
2. 本町の空き家対策の進捗状況と今後の見通しは	<p>本町でも年々空き家が増加しており大きな問題となっている。</p> <p>先般テレビで阿武町の空き家対策が報じられていた。</p> <p>阿武町では中古住宅の仲介を行政が行っており、大きな成果を上あげているようだ。利用者も行政が間に入っているので安心だというインタビューが出ていた。今後、田布施町でも阿武町の手法を研究・取り入れる予定はあるのかお尋ねする。</p>	町長
3. 田布施の特産品開発としての「どぶろく特区」の活用について	<p>先般テレビで田布施農工高校の生徒の創る日本酒やどぶろくのニュースが流れて、農工祭で生徒の作ったお酒が大人気で飛ぶように売れていた。町内の方でどぶろくの製造に目をつけ取り組んでいる方も出てきているようだ。田布施町はせっかく「どぶろく特区」に指定されているのだから 町の特産品開発のために行政として何らかの支援することはできないものかをお尋ねする。</p>	町長

質問者6 瀬石 公夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 平成30年度の保険税について	<p>本町の保険税は、県内では低い位置で推移している。その要因は医療費総額が下がっているからであり、平成28年度国保会計の決算では、繰越金が約1億1,200万円以上となっている。住民からも、「保険税は高くて払えない」との声が高まる中で、この機会に保険税を引き下げるべき時期だと考える。</p> <p>また、国は平成30年度から医療費適正化や収納対策に取り組む保険者への財政支援として、「保険者努力支援制度」を創設し、700億円から800億円規模の予算が措置されることになっている。そこで、町長に次のことを尋ねる。</p> <p>①県が示した標準保険料率を参考に町が決定する保険税額はどうか。</p> <p>②この機会に一般会計繰入等により、社会保障の観点から保険税を引き下げてはどうか。</p> <p>③町が医療費適正化等の取り組みを行うことにより、保険税率に影響を与えることとなるが町として、今後どのように取り組むのか。</p>	町長

2. 田布施町第二庁舎（仮称）計画について	<p>平成29年2月付の資料、田布施町第二庁舎計画が議会に示され、執行部から論議の材料として提出させて頂いた。一つの資料として作成したと説明があった。</p> <p>この論議の中で、現在の本庁舎の空きスペース、会議室、委員会室等の有効利用をし、書庫を庁舎外で確保するなどレイアウトを見直すと、教育委員会、社会福祉協議会が本庁舎に入れる事が出来るのではないかなどの意見が出た。</p> <p>また、来庁者の利便性、職員の福利厚生向上のためにトイレの洋式化、職員の休憩室及び食事場所の整備をして欲しいなどの要望も聞く。</p> <p>こうしたことから、本庁舎のレイアウトやリニューアルを検討し利用できる空間は利用して有効利用を図っては、またトイレ、休憩室、食事場所の整備の検討も必要と思うが町長の見解を尋ねる。</p>	町長
3. 文化センター・保健センターの整備について	<p>平成28年3月作成の第5次田布施町総合計画・後期中で、文化施設の整備は、従来から要望があった文化センターの建設について、引き続き公共施設の複合化も含め検討する。保健センターについては、健康づくりや生活習慣病の予防対策を活発に進めて行くためには、保健活動の拠点となる施設の整備の検討が必要と記載されている。建設用地も図書館と交流館の間に確保されており文化・保健の複合施設として建設に向けて進めて頂きたい。</p> <p>①文化センターは、サークル活動、コンサート、イベント等の実施の場として、町民誰もが文化にふれ合い、親しむことができる施設として必要と思うがどうか。</p> <p>②保健センターは、地域における母子保健・老人保健の拠点として、健康相談、保健指導及び健康診査等を行う地域保健にとって重要な施設であり早急な整備を望むがどうか。</p> <p>以上2点について町長の考えを問う。</p>	町長

質問者7 西本 篤史

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 第二庁舎の計画は怎么样了な	<p>本庁舎の耐震工事の方針も決まったが、以前第2庁舎の計画案が出たがあれからどうなったか。現在の中央公民館（教育委員会、中央公民館、社会福祉協議会など）は50年近く経て老朽化している。当然耐震基準もクリアしていない。今後、建替えるにあたり、場所、面積、階数、配置など、色々な案があると思う。先日、教育研修会で下松市のほしらんど下松に行き、多目的複合施設サルビアホールで研修した時、参加者から、第2庁舎もこのような多目的ホール、カフェ、保健センター、教育委員会、社会福祉協議会等が入り、町民が気軽に立ち寄れる施設にとの声を聞いたがどうか。また、多目的複合施設に補助金や交付金などはあるか。建設場所についても今後検討がなされるだろうが、交流館東側の空き地は何に使うのか。</p>	町長
2. 主要道路の整備について	<p>今年度は県道など道路整備が顕著である。平生港田布施線、周東田布施線、光柳井線や、農免道路も工事を行っている。町道も予算の範囲でしている。町民の生活に欠かせない主要道路の整備も優先的に計画してはどうか。特に中央南から新川、高塔に向かう道路。交通量が多い割に道路が狭く、住民も離合の際に脱輪するなど事故も多い。現在の道路の工事状況、橋梁検査の結果、今後の都市計画の道路整備はどうか。</p>	町長

3. 灸川の避難勧告について	今年も大雨で川が増水し日本各地で避難勧告が相次いだ。山口県内でも特に田布施町の灸川は幾度となく避難勧告が出され日本中に知れ渡った。しかし、現地に行くとそれほどでもない。今後、警戒水位のレベルを変更出来るのか、川の浚渫計画もあるがいつまでにどれだけ出来るのか。浚渫も一気にやらないと効果がないのではないか。	町長
----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----

質問者 8 松田 規久夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 防災の視点から避難施設、放送設備、灸川の問題について	<p>①避難施設 台風18号、21号と田布施川支流の灸川が危険水位を超え、避難勧告も出されテレビで全国に放送された。被害を心配して遠方の友人、知人からの問い合わせがあった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 町内5地区の避難場所の指定は、立地場所として適切か。 2) 指定された避難施設の安全は確保されているか。 3) 避難場所に収容できる人数は各地区およそ何%が可能か。 4) 仮に、収容できない避難者が発生すれば、どのように対応するのか。 5) 大規模災害後、県（高校、支援学校）の施設の使用は。 6) 収容不可能時を想定し、事前準備として民間協力者の把握は。 <p>②放送設備 避難勧告の放送を明確に聞き取れた人は、少数だったのではないか。マスコミから情報を得た人が多かったと想像できる。住民の早期避難を促すために、注意喚起のサイレンと放送の併用を再提案する。</p> <p>③灸川 満潮、高潮、低気圧による海面上昇が重なると、本流の田布施川の水位が上昇し、支流の灸川の水位も上昇する。先の2度の台風では、特に大雨だったという感覚はないが、危険水位を超え避難勧告となった。今の状態を放置すれば「オオカミ少年」ではないが、肝心の時に避難者がいない。安心、安全な町づくりのため、堤防のかさ上げ、拡幅、大型ポンプの設置などの対策が望まれると思うがどうか。</p>	町長
2. 防災の視点から、ため池の管理について	<ol style="list-style-type: none"> 1) 町内5地区のため池の数は。 2) ため池はどのように区分され、誰がどのように管理しているのか。また、行政組織との位置づけは。 3) 管理ができていない場合、行政はどのように関わるのか。 4) 維持、管理、必要性を考慮して、埋めるという選択肢はあるのか。その場合、誰が決め、誰がどのような負担をするのか。 5) 安全度のランク付けはされているか。周辺住民への周知は。特に下流域の住民へ。 6) 管理する担い手の将来不安は。 7) 予想を超える雨量が日本各地で多発しているが、堤防決壊の可能性は。 	町長
3. リスク回避の観点から、安価な飲料水の確保について	香川県は来年4月に16市町の水道事業を統合し、全国初の1県1水道体制をつくる。国も広域的な連携が不可避として、県にリーダー役を求めていく。町長として山口県に1県1水道体制になるよう働きかけをお願いしたい。柳井広域に属する市町の水道料金は同程度に高額だ。使用料20立方メートルを県内で比較すると、安価な下松市、岩国市の3倍、高い下関市の1、5倍となっている。柳井広域に属する田布施町民として、早期	町長

	<p>の政治決着が望まれる。また、町として、田布施、平生水道企業団は2水源（田布施川、弥栄ダム）となっているが、防災、コストなどを考慮して水源の2系統をどのように考えているか。</p>	
<p>4. 危機管理の視点から北朝鮮ミサイルについて</p>	<p>9月議会で議員2人の質問があった。11月29日に新型ミサイル火星15号(ICBM)が発射された。ロフテッド軌道で高度4500kmに達し、青森沖の日本海の排他的経済水域に落下した。北朝鮮は経済的には困窮しているが、今回の発射成功で核戦力が完成したと言える。世界情勢は常に変化している。新たなニュースなので、住民が安心、安全な生活を送るため再度質問をする。町として、どのような対応を考えているか。</p>	町長
<p>5. 第2庁舎新築について</p>	<p>耐震基準に満たない中央公民館の対策として、第2庁舎新築案が示された。役場本庁舎については一定の方向性はついたので、良いタイミングでの提案と言える。しかし、第2庁舎の必要性の有無、建物の規模や構造などの選択肢等、検討すべきことは残されている。現在の新築案はどのような検討のもとで提示されたのか。</p>	町長